

# 文法をやさしく

ぶん ぼう

## 第2回 受身 (2) NはNにVられる

だい がい うけ み

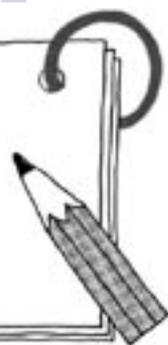
NはNにNをVられる

学習段階：初級後半

がくしゅうだん がい しょきゅうこう はん

キーワード：ヴォイス・受動態・非情の受身・視点

じゆどうたい ひじょう うけ み してん



今回も前回に続いて、受身についていっしょに考  
えましょう。第1回は、人(主に「わたし」)に視  
点を置いた受身を取り上げました。このような受身  
文ではできごとの影響を受けた人物の気持ちが表わ  
れていました。

今回は、これとは少し違ったタイプの受身文を見  
てみましょう。

「ミラクル・オン・アイス」のメンバーが聖火台  
に火をつけた。第19回冬季オリンピック競技ソルト  
レーク大会は8日夜(日本時間9日午前)開会式  
が行われた。(2002年2月9日朝日新聞朝刊「各種  
目で熱戦スタート」)



この文章はオリンピックが始まったことを伝える  
新聞記事の最初の部分です。動作を行った人がだれ  
かはっきり言えない場合や、その人のことを具体的  
に言う必要がないときに、動作の対象が主語に選ば

れて、受身文が作られることがあります。「大会が  
行われた。」「シンポジウムが開かれた。」など、新  
聞やテレビのニュースなどの報道で、このタイプの  
受身文はよく使われています。次の1、2も事  
件や新しいできごとについての文です。

- 1 窓が割られ、指輪がぬすまれました。
- 2 今年から、ヨーロッパでユーロというお金  
が使われるようになりました。



また、報道の文のほかに、動作の対象に視点を置  
いて、説明するときにもこのような受身をよく使  
います。

では、次の例文を見てください。

- 3 お酒の好きな山田課長はワインを飲んでい  
ます。
- 4 ワインはお酒の好きな山田課長に飲まれて  
います。

3 と 4 を比べてみましょう。山田課長と、  
課長が飲んでいるワインとを比べると、どちらが話  
題の中心になりやすいでしょうか。この文のあと、  
ワインの話を続けると、せっかく名前や好きなもの  
までわかっている課長についての情報が無駄になり  
ます。

次はどうでしょうか。

5 おおぜいの人<sup>ひと</sup>はワイン<sup>の</sup>を飲んで<sup>います</sup>。

6 ワイン<sup>は</sup>はおおぜいの人<sup>に</sup>飲まれて<sup>います</sup>。

おおぜいの人とワインではどちらが話の中心にな  
りやすいですか。この文のあと、「おおぜいの人」  
の話をしようと思っても、どんな人たちのかよく  
わかりません。ワインを飲んでいることのほかに、  
その人たちについてどんな話をすればいいのか考え  
にくいです。

7 『日本語教育通信』はいろいろな学校で読ま  
れています。

8 ビールのびんは、リサイクルされてもう一  
度使われています。

7 と 8 の例も同じです。日本語には、動作  
をする人がどんな人たちが、何人いるか、どこにい  
るかなど、よくわからない場合に、その人たちを主  
語にせず、また文の中にも書かないで受身文にする  
ことがよくあります。

9 紅茶はインドやスリランカの茶畑で作られ  
ます。

10 このワインは1996年に作られました。

9、10 の文は、主語の「紅茶」「このワイン」  
がどんなものかを説明する文です。どちらもだれが  
作るかは文の中に出てきません。

このように話の中心になるものが主語に立つ受身  
文では、主語の助詞に話題を示す「は」を使います。

ここで、わたしたちはどんなものを話の中心にす  
ることが多いか、ちょっと考えてみましょう。有名  
な場所、建物、音楽、小説、もちろん有名人も…。

11 世界中の人は今でもビートルズを愛してい  
ます。(?)

11 の文にどうして(?)がつか、もうわか  
りますね。

話の中心になりやすいものを主語にしてみます。

12 ビートルズは、いまでも世界中の人から愛  
されています。

12 の受身文は「ビートルズ」も「世界中の人」  
も人間で、動詞も「愛する」ですが、前回勉強した  
受身文のように感情を表しているのでしょうか。話  
し手は、ビートルズの気持ちになって、世界中の人  
に愛されていることを喜んでいるではありません。  
やはり、12 も、有名な音楽グループ、ビートル  
ズの説明文になっているのです。

13 ピラミッドはわたしに写真を撮られました。  
た。(?)

13 の例はどうでしょうか。エジプトのピラミ  
ッドは有名ですから、主語にしてみたのですが、ど  
うも変な日本語ですね。みなさんがピラミッドにつ  
いて知りたいと思うのはどんなことでしょうか。高  
さや古さ、どんな形か、なぜ作ったのか?しかし、  
「わたしが写真を撮ったこと」はピラミッドの説明  
になりません。こんな場合は受身文にしないように  
気をつけてください。14 のように言います。

14 わたしはピラミッドの写真を撮りました。

### 参考文献

庵功雄 (2001) 『新しい日本語学入門 ことばのしくみ  
を考える』 p.98-107 スリーエーネットワーク

白川博之監修 (2001) 『中上級を教える人のための日本  
語文法ハンドブック』 p.102-112 スリーエーネット  
ワーク

文化外国語専門学校 (1994) 『文化中級日本語』  
p.113-119 凡人社

前号の参考文献も見てください。

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

担当者: 荒川みどり (日本語国際センター客員講師) 木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)